

福祉社会研究専攻 修士課程

授業科目	単位		副題	備考	
	前期	後期			
福祉／ソーシャルワーク	家族政策研究 I	②	②	家族福祉を保障する各種政策に関する研究	★
	児童家庭福祉研究 I	②	②	要保護・要支援児童および家族の社会的包摂に関する研究	★
	児童家庭福祉演習 I 1	①	①		★
	児童家庭福祉演習 I 2	①	①		★
	ソーシャルワーク研究 I	②	②	ソーシャルワークの理論と実践(経営を含む)に関する研究	★
	ソーシャルワーク演習 I 1	①	①		★
	ソーシャルワーク演習 I 2	①	①		★
	スーパービジョン研究 I	②	②	スーパービジョンの理論と実践方法	★
	生活福祉経営研究 I	②	②	福祉・生活支援サービスについて生活経営・生活福祉の視点から研究	★
	生活福祉経営演習 I 1	①	①		★
	生活福祉経営演習 I 2	①	①		★
	医療福祉研究 I	②	②	NBMIに基づく、医療福祉、精神保健、在宅ケア領域の研究	★
	医療福祉演習 I 1	①	①		★
	医療福祉演習 I 2	①	①		★
	高齢者福祉研究 I	②	②	高齢者のケアと研究方法	
	障害者福祉研究 I	②	②	障害者のキャリア及び生活支援に関わる諸理論・アプローチとその応用に関する研究	
	障害者福祉演習 I 1	①	①		
	障害者福祉演習 I 2	①	①		
	地域福祉研究 I	②	②		
	社会／地域	国際男女共同参画社会研究 I	②	②	差別撤廃条約、国連文書と男女共同参画社会研究
現代生活経営研究 I		②	②	現代社会における家族・生活問題についてジェンダー及び生活経営の視点から研究	▲
現代生活経営演習 I 1		①	①		▲
現代生活経営演習 I 2		①	①		▲
都市社会研究 I		②	②	現代社会の諸現象について都市・地域の視点から研究	▲
都市社会演習 I 1		①	①		▲
都市社会演習 I 2		①	①		▲
言語社会研究 I		②	②	ことばと国家、民族、地域問題の研究	▲
言語社会学演習 I 1		①	①		▲
言語社会学演習 I 2		①	①		▲
比較教育社会学研究 I		②	②	社会・文化現象としての教育を、社会学の視点から比較研究	▲ 人間教育学専攻と同時開設
比較教育社会学演習 I 1		①	①		▲
比較教育社会学演習 I 2		①	①		▲
社会学方法論研究I		②	②		▲
言語政策研究 I		②	②	国語の構築と少数民族問題に関する研究	▲
ソーシャルネットワーク研究 I		②	②	メディアと社会的紐帯	▲
ソーシャルネットワーク演習 I 1		①	①		▲
ソーシャルネットワーク演習 I 2		①	①		▲
グローバリゼーションの社会学研究 I		②	②		▲
社会文化研究 I		②	②	表象文化に関する社会学的研究	
社会文化演習 I 1	①	①			
社会文化演習 I 2	①	①			
人間教育学専攻 同時開設科目	発達教育心理学研究 I 1	②		幼児の発達と教育心理学研究	※人間教育学専攻と同時開設
	発達教育心理学研究 I 2		②	幼児心理学教育の指導と実践	
	臨床発達心理学研究 I 1	②		幼児期・児童期における発達の問題	
	臨床発達心理学研究 I 2		②	幼児期・児童期における臨床心理学的支援	
	幼児教育研究 I 1	②		幼児の発達と保育学研究	
	幼児教育研究 I 2		②	幼児教育の指導と実践	
	幼児教育研究C I 1	②		人間関係	
	幼児教育研究C I 2		②	人間関係	
福祉社会特別研究 I	4	4	修士論文作成指導	修了予定の2セメスター前から履修する	

福祉社会研究専攻 修士課程

授業科目	単位		副題	備考			
	前期	後期					
福祉共創マネジメントコース	基幹科目	福祉社会特講Ⅰ ※前後期同一内容	2	2	福祉社会とは、福祉社会における専門職養成の意義、福祉社会における持続可能性と社会政策等	共創コース2単位以上 選択必須	
		組織マネジメント論	2		組織が機能的に活動するための管理方法について学ぶ		
		ソーシャル・イノベーション論 ※前後期同一内容	②	②	立場の異なる組織が組織の壁を越えて社会問題を解決するコレクティブインパクトの実践法を修得する		
		社会保障政策論	②		少子高齢化に対応した社会保障・労働市場改革や福祉の規制改革の考え方等について学ぶ		
		事例研究法・データ解析法	②	②	組織運営に必要な論理的思考と交渉について、ケーススタディーを活用しながら学ぶ		2022年度より前期開講
	福祉共創マネジメント コア科目	人材育成とキャリア論		②	組織内外における人材育成法・モチベーションマネジメント・キャリア論について学ぶ	2023年度より前期開講	
		リーダーシップ論	②		集団の改革に必要な考え方や行動について、アダプティブリーダーシップ論を活用して学ぶ		
		対人関係構築論	②		虐待、DV、ひきこもり、いじめなどの社会的問題に関係論的アプローチで論ずる		
		臨床倫理学		②	臨床死生学、クライアント、組織、制度間で生じる倫理的問題と解決方法論		
		財務会計	②		企業や病院等の原価計算や予算管理等、経営管理者の意思決定に必要な知識		
	演習	労働とジェンダー	②		現代の労働の態様と労働・福祉政策をジェンダー視点から考察	2023年度より前期開講	
		持続可能性と社会ビジネス		②	ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス、NPO、協同組合の組織と運営方法、CSRなどのキーワードを含む		
		地域資源開発論	②	②	地域社会論を基礎に地域資源開発・地域計画を研究		
		福祉共創マネジメント実践研究	3	3	修士論文作成指導または修論代替研究指導		
消費者志向経営コース	消費者志向経営 コア科目	消費者志向経営分析法 ※前後期同一内容	2	2	論文の構成、課題の抽出、リサーチクエスションの立て方など、消費者志向経営分析法を学ぶ	2023年度より後期開講	
		公共政策論	②		企業活動と公共政策、競争政策、規制改革、など		
		CSR論	②	②	CSRの概念・歴史、ISO26000、コンプライアンス、サプライチェーンCSR、「持続可能性と社会ビジネス」含む		
		企業のリスク・マネジメント	②		情報社会と情報リスク、企業価値と安全リスクマネジメント		
		マーケティング戦略論		②	顧客創造とマーケティング空間、政策論としてのマーケティング		
		消費者志向経営論	②	②	企業の役割と責任、企業のガバナンス(ステークホルダーの役割)、事故情報の収集、消費者トラブルの実態と解決		2023年度より前期開講
		日本経済論		②	日本経済の課題、イノベーション、経済のサービス化、プラットフォームの問題		
		消費者政策論	②		取引コスト論、ソフトローの理論、行動経済学と消費者政策		
		消費者教育	②	②	消費の理解(持続可能性)、生活の管理と契約、消費者の参画・協働		2023年度より前期開講
		起業と組織	②		地域経済と中小企業、中小企業を支える仕組み、組織、起業と経済活性化を学ぶ		
	演習	消費者志向経営演習	2	2		2023年度より前期開講	
消費者志向経営研究		3	3	修士論文作成指導または修論代替研究指導			

- 2年制プログラム課程修了要件の単位数は30単位である。このうち、必修単位は次の1)から3)に示す16単位である。
 - 1) 指導教員が開設する講義科目(「〇〇研究Ⅰ」)を4単位。
 - 2) 指導教員が開設する演習科目(「〇〇演習Ⅰ(2単位)」及び「〇〇演習Ⅱ(2単位)」)を4単位。
ただし、早期卒業制度により履修期間を短縮する場合は、演習科目の単位数が不足することが考えられる。不足分の演習の単位は別の研究科目で充当すること。
 - 3) 「福祉社会特別研究Ⅰ」を8単位。(修士論文作成のための研究。修了予定の年次に履修する)。
 - 4) 残りの14単位は、福祉社会研究専攻開設の講義科目(演習科目を除く)から選択科目として履修する。
指導教員の指導により、生活機構研究科内の他専攻及び福祉社会・経営研究科福祉共創マネジメント専攻(専門職学位課程)の講義科目(演習科目を除く)を選択科目として履修し、その単位を修了要件の単位に含めることもできる。
- 1年制プログラム福祉共創マネジメントコース修了要件の単位数は30単位である。必修単位は次の1)に示す12単位、選択必須単位は2)に示す10単位である。
 - 1) 基幹科目の「福祉社会特講Ⅰ」「組織マネジメント論」を4単位と、演習科目「福祉共創マネジメント演習」2単位、「福祉共創マネジメント実践研究」6単位
 - 2) 保育・福祉施設経営プログラムを選択する場合、基幹科目の「社会保障政策論」を選択必須科目として2単位履修すること。
保育・福祉施設経営プログラム以外の履修者は、「ソーシャル・イノベーション論」2単位を選択必須科目として履修すること。
また、福祉共創マネジメントコア科目群から8単位を選択必須科目として履修すること。
 - 3) 残りの8単位は、福祉社会研究専攻開設の講義科目(演習科目を除く)または福祉社会・経営研究科福祉共創マネジメント専攻開設の講義科目(演習科目を除く)または人間教育学専攻同時開設科目から選択科目として履修する。
- 1年制プログラム消費者志向経営コース修了要件の単位数は30単位である。

必修単位は、次の1)に示す12単位、選択必須単位は2)に示す10単位である。

 - 1) 消費者志向経営コア科目の「消費者志向経営分析法」2単位と、演習科目「消費者志向経営演習」4単位、「消費者志向経営研究」6単位
 - 2) 消費者志向経営コア科目から10単位を選択必須科目として履修すること。
 - 3) 残りの8単位は、福祉社会研究専攻開設の講義科目(演習科目を除く)または福祉社会・経営研究科福祉共創マネジメント専攻開設の講義科目(演習科目を除く)または人間教育学専攻同時開設科目から選択科目として履修する。

[教育職員免許状:専修免許]

高等学校専修免許状(福祉)、中学校専修免許状(社会)取得に必要な条件は次のとおりとする。

- 1) 専修免許取得に必要な最低修得単位 24単位
- 2) 専修免許取得に必要な学位 修士(学術)
- 3) 「福祉」又は「社会」の専修免許を取得する場合、「福祉」は★印、「社会」は▲印の科目から24単位を取得しなければならない。

福祉社会研究専攻 修士課程

授 業 科 目	単 位		副 題	備 考
	前 期	後 期		

[更新履歴]

更新日	科目名等	変更内容
2022/3/1	事例研究法・データ解析法	2022年度より、開講期を後期から前期に変更
2022/3/1	児童家庭福祉演習 I 1、I 2	科目追加
2022/3/1	地域福祉研究 I	科目追加
2022/3/1	社会文化演習 I 1、I 2	科目追加
2023/3/1	幼児教育研究C I 1、I 2	科目追加
2023/3/1	地域資源開発論	2023年度より、開講期を後期から前期に変更
2023/3/1	CSR論	2023年度より、開講期を前期から後期に変更
2023/3/1	消費者志向経営論	2023年度より、開講期を後期から前期に変更
2023/3/1	消費者教育	2023年度より、開講期を後期から前期に変更
2023/3/1	備考2. 3)、3. 3)	履修対象科目の追記
2024/3/1	備考1. 4)	履修対象科目の追記